

皆々様

新しい年を迎えました。

本年もどうぞよろしく願いいたします

BCC で失礼致します。

今年是被爆 80 年、東電事故 14 年。

今年はくびきを打開する開かれる年にしたいものです。

「事実をありのままに認識することは民主主義の土台です」。

「科学と人権に立脚する被曝評価体系」の確立に向けて出発する年です。

「内部被曝（呼吸や飲食を通じて放射性物質が体内に入り体内から被曝す

ること）」が米核戦略で隠され、戦後一貫して全世界で隠蔽が継続されてきました。

日本被団協がノーベル平和賞を受賞しましたが、原爆被災者は生涯がん

などの被曝リスクが継続し、苛まされてきました。

しかし、広範囲に居住していた市民が内部被曝をしているにもかかわらず、

政府が一貫して内部被曝を認めない（被爆者と認めない）ために巨大な

差別を強制されてきました。

この内部被曝が無かったことにする「封じ込め集団」が多面的に形成され巨大な力を持っています。

国際原子力機関 IAEA、国際放射線防護委員会 ICRP、

原子放射線の影響に関する国連科学委員会 UNSCEAR 等であり、

身近ではお医者さん集団です。

東電原発事故ではチェルノブイリ放出放射能の 2 倍程度であるにも拘わらず公的には極めて過小評価されてきました。

事故後 9 年間で 63 万人の死亡者の異常増加があります。

重大なことは、チェルノブイリで居住禁止とされた高汚染地域に日本では120万人ほどの市民が居住し続け、生産し続けました。大量の放射能除染生産物が全国に流通しました。政府+民間で「食べて応援」大合唱が生じ、たくさんの市民が協力しました。公的病院のほとんどが福島米を病院食に採用しました。

困ったことに、病院では「放射能被害防止」の診療指針は全くありませんでした。

肥満症の方には食事制限を指導し、処方します。

糖尿病の患者さんには糖の接種制限が指示されます。

しかし多様な放射線被曝リスクには「放射能汚染食材の摂取制限」などは一切なされませんでした。

患者を守るために行う被曝したかどうかの判断目安とする診察・検査項目も確立しておらず、放射線被曝に対する診療指針は無きに等しい状態ではなかったかと思います。

代わりに「放射能は語らず」「言わせない」です。

子どもが健康不良になって診察に来たお母さんに対して

「お母さんが放射能を心配するからお子さんがこんなになるのだ」と怒鳴られたことがたくさん報告されています。

厚労省人口動態調査のデータをまとめるとコロナ禍が展開する前までの

2019年までの事故後9年間で2010年以前の傾向と比較して死亡者の異常増加総数が何と63万人に上ります（矢ヶ崎克馬、小柴信子）。

公的研究機関からは何の報告もありません。

お葬式が異常に多くなったとの報道はありましたが、探究結果は皆無です。

各種健康不良患者数増大が深刻です。

医療現場が放射線被曝から命を守る観点を持っていたら、この死者数は激減していたでしょう。

この問題は、ICRPの防護基準が被曝を見る科学を歪め、こともあろうに

2007勧告で住民防護ではなく国家統治のために超高線量まで

「被曝させて良い」ことにしたその手口の解明と共に被害の実態を『放射線防護の科学と人権』（緑風出版）にまとめてあります。

嘘で固められた世界で、被曝強制核戦略の哲学の下に、被曝させられっぱなしの住民として、その世界観を暴露し、正常に戻す運動が、「科学と人権に立脚する被曝評価体系」の確立の運動です。

日本国の主権放棄と傀儡政権の屈辱的な戦後 80 年から脱却し、沖縄・日本列島最前線化（沖縄戦が再来しています）を止めると共に、嘘で固められた被曝世界の支配に終止を打ちましょう。

やがて「被曝リスク日本委員会」の呼びかけを致します。市民は力を合わせましょう。

#### 1 つなごう命の会定例学習会

済みません！諸事情で金曜日にやります。是非ご都合付けてご参加ください。

#### 日時

2025 年 1 月 17 日(金) 16 時からおよそ 2 時間

#### (1) 会場

牧志駅前星空公民館 パソコン室

#### (2) ズーム参加

ZOOM URL パスワード等

[https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=](https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=U1lnS21xQWRYOXRlN1ZKNFRxN08xQT09)

U1lnS21xQWRYOXRlN1ZKNFRxN08xQT09

ミーティング ID: 771 881 3361

パスコード: D8R2Lt

参加予定の方は事前に<yagasaki888@[gmail.com](mailto:yagasaki888@gmail.com)>までご連絡ください。

(Aを@にご変更ください)

参加費無料です

今回は、「内部被曝隠し」の手法の解明

国際放射線防護委員会（ICRP）は、架空の物理量「実効線量」体系を作る

ことによって、科学（検討）の対象から「電離損傷修復困難度」を除

外い

たしました。それによって「『内部被曝』は外部被曝と全く同一の尺度で

検討できる」としました。極端に被曝被害を少なく見せるための手段です。

「実効線量」体系がどのようにして危険度を排除しているのか？を説明いたします。

2 今回上梓したのは『放射線防護の科学と人権』（緑風出版）

2500 円＋税（2750 円）です。運動の内容を理解していただくために発行いたしました。

印刷屋さんの営業補償のためもあり、少しでも安い価格で

皆さんに購入していただくために、当座 200 部を買取りました。

著者割引の価格に送料を加えて一冊 2500 円で提供できます。

①ご氏名、②住所（＋郵便番号）、③連絡先電話番号 をお書きして、  
[Yagasaki888@gmail.com](mailto:Yagasaki888@gmail.com) 迄お申し込みください。

皆様に運動の基盤をご理解いただき、ご支援いただければ幸いです。

（2025 年元旦）矢ヶ崎克馬